

くじ抽選の方法：同価格の落札者が2名以上ある場合の取り扱い

当該入札に関して、同価格の落札者が2名以上あった場合のくじ抽選による決定方法については、次のとおりとする。

＜手順＞

- (1) くじ抽選の対象となる入札参加者に対し、入札書の提出日時の早い順（受け取った順）に0、1、2・・・の番号を付与する。
- (2) 入札書に記載されている3桁のくじ番号を合計する。
 - ・失格者及び無効な入札（入札説明書記載の入札の無効条件）をした者が提出したものは除く。
 - ・未記入・判読困難・不明確な場合等の際は、センターにて「000」と取り扱う。
- (3) (2) により合計した数値をくじ抽選の対象となる入札参加者の数で除して、余りの数を求める。
割り切れた場合は0とする。
- (4) (1) により付けた番号と(3)により算出した「余りの数」が一致した者を落札者に決定する。

（くじ抽選決定の例）

入札参加者 入札書到着順	くじ番号 (任意の3桁の番号)	くじ抽選の対象となる入札参加者に付す番号	
		パターン1 (3者がくじ抽選対象)	パターン2 (2者(A、B)がくじ抽選対象)
A	0 3 7	0	0
B	3 6 6	1	1
C	2 0 7	2	
くじ抽選 結果判定	6 1 0 合計値=37+366+207	6 1 0 ÷ 3 (者) = 2 0 3 余り <u>1</u> ⇒ Bが落札	6 1 0 ÷ 2 (者) = 3 0 5 余り <u>0</u> ⇒ Aが落札